

『これからの5年を考える』

祝吉地区社会福祉協議会 会長 荒武 春男

コロナに負けない健康で明るく住みよい安心・安全なまち祝吉に向かって、高齢者、若者、子どもと手を取り合って“夢と希望”の目標に365日一步一步、歩いていきましょう。

祝吉地区社協 これからも続けていきたい活動

茶っぴいサロン（子育てサロン）

毎月第3火曜日に開催。親子で楽しめるよう季節に応じた内容を計画しています。茶っぴいタイムでは、お茶お菓子を楽しみながら保護者、ボランティアと交流を図り、子育ての相談等をしやすい環境づくりをしています。



スマイルカフェ祝吉

月1回地域住民同士の交流や居場所づくりとして、調理や会食を実施し多世代交流の場となっています。コロナが流行してからも、つながりを切らさないため、弁当配布をしています。地域で人が育つ場を目指します。



自治公民館長・民生委員合同研修会交流会

双方が顔をあわせ学習会や情報交換をし、地域のことを考える・語る場になっています。自治公民館長と民生委員、地区社協の連携強化をし、よりよい祝吉地区を目指します。



ボランティア学習会

子育てサロン等で活躍しているボランティアが、楽しみながら安心して活動できるように学習会を年2回程度実施しています。さらなる地域福祉活動活性化を目指します。



祝吉地区スローガン

みんなちがってみんないい
～夢・希望あふれる「あやめのまち祝吉」～

【基礎情報】(R2.5.1)

人口規模 (住基人口)	全 体	18,974 人	世帯数	9,436 世帯
	男 性	8,937 人	自治公民館加入世帯	3,801 世帯
	女 性	10,037 人	自治公民館加入率	40.3%

【祝吉地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

○人づくり・つながりづくり

- ・若い世帯の巻き込むためのきっかけ作りが必要
- ・若い人の声を聞く場を設定し、子どもから高齢者までが楽しめる企画をしたい
- ・理事会設置を検討し、若い人や他組織の巻き込みが必要になってくる
- ・民生委員・公民館長合同研修会交流会は役割把握や情報共有の場として継続していきたい
- ・子育て世代とのコミュニケーションが不足している
- ・茶っぴいサロンは親子がふれあえる場として更なる充実をしていきたい
- ・在宅介護者のつどいが以前のように月1回気軽に茶話会をする場になればいい
- ・隣近所との付き合いがなくなり顔が見えなくなっている
- ・自助力が低下している
- ・学校との情報共有が足りていない

○地域づくり

- ・ひとり暮らし高齢者や若い世帯の公民館未加入で、自治会組織等成り立たなくなっている
- ・高齢者の集う場所、機会がない
- ・コロナの影響で外出が減り体力低下や認知症症状発症している高齢者が増えている
- ・空き家の増加
- ・生活が苦しくなっている人が多い
- ・コンビニが多く買い物できるスーパーが少ない
- ・避難所を知らない人が多い

○しくみ・体制づくり

- ・ちょっとした困りごとに対応できる有償サービスを立ち上げたい
- ・地区社協の役割の明確化や周知活動が必要
- ・地域活動に積極的なNPO団体との連携し地域福祉推進をしたい

祝吉地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

みんなちがってみんないい ～夢・希望あふれる「あやめのまち祝吉」～

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域 (自治公民館単位) での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1- ①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・公民館長、民生委員合同研修会、交流会の開催 継続)・在宅介護者の集いの実施 新規)・各自治公民館の支え合い活動の把握 (R3)
	1- ②学校と地域との連携協働事業を積極的に推進していきます	継続)・学校ボランティア (総合的な学習) への協力 新規)・こどもまち協と連携して、定期的な意見交換会を開催 強化)・学校や学校運営協議会との情報共有
	1- ③茶っぴいサロン (子育てサロン) の活動の充実をさせます	継続)・勉強会や視察研修などボランティア研修の実施 (年2回) 継続)・活動内容や広報の充実
2 多世代が参加しやすい新しい活動の創出に取り組みます (人づくり・つながりづくり)	2- ①おたすけサービスを充実させていきます	継続)・生活援助員の募集 継続)・生活援助員の意見交換会、研修会の実施
	2- ②有償ボランティアを立ち上げます	新規)・協議体の立ち上げ (R3) 新規)・各自治公民館の支え合い活動や地域課題の把握 (R3) 新規)・有償ボランティア活動開始 (R5)
	2- ③若い世代を巻き込んだ活動を推進します	新規)・若い世代もボランティアに興味を持ってもらうようにマルシェ等企画の実施
3 様々な関係機関・団体との協働の活性化に取り組みます (協議の場づくり)	3- ①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	新規)・地区内関係機関団体意見交換会の実施 (R3～年2回) 新規)・理事会組織の立ち上げの検討 (PTA や施設等) 新規)・NPO 団体と連携した地域活動の実施
	3- ②様々な福祉課題を協議できる場をつくります	新規)・ケース検討会の実施 (R3～随時)
4 安心安全な地域づくりのための組織体制を目指します (しくみ・体制づくり)	4- ①事務局体制を充実強化していきます	新規)・理事会組織の検討 (R3)
	4- ②広報PR活動を強化します	継続)・広報紙の発行 新規)・事務局開設チラシの作成 (R3～)